

二〇二一年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

中国語中国文学 コース

※解答は別紙

〔縦・横書〕

〔問一〜三の回答順は自由でよいが、必ず問の番号を記してから答えること〕

問一 次の十五項目の中から十項目を選び、ごく簡潔に説明せよ。

(時代の分かるものは必ず時代を記すこと)

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|-----|---|------|---|--------------|---|-----------|
| ア | 方方 | イ | 版本 | ウ | 太康文学 | エ | 百花斉放 | オ | 李攀龍『唐詩選』 |
| カ | 類書 | キ | 朱德熙 | ク | 三言二拍 | ケ | CEFR (セフアール) | コ | 「直接成分分析法」 |
| サ | 広韻 | シ | 散曲 | ス | 江西詩派 | セ | 『且介亭雜文』 | ソ | 大宋宣和遺事 |

問二 次の「ア」「イ」のうち、いずれか一つの問題を選んで解答せよ。

〔ア〕次の文章を読んで、全文を日本語に訳せ。

唐李白、字太白。離翰苑、適遠遊華山、過華陰。縣宰方開門、判案決事。太白乘醉跨驢入縣内、宰不知、遂怒、命吏引來。太白至廳亦不言。宰曰「爾是何人、安敢無禮？」太白曰「乞供狀。」宰命供、太白不書姓名、只云「曾得龍巾拭吐、御手調羹、力士抹靴、貴妃捧硯。天子門前尚容吾走馬、華陰縣裏不許我騎驢？」宰見大驚、起愧謝、揖曰「不知翰林至此、有失迎謁。」欲留。太白不顧、復跨驢而去。

(『青瑣高議』後集卷二より)

(注) 李白が翰林供奉の職を解かれ玄宗の翰林苑から追放された後日の逸事である。「縣宰」は県令、「力士」は玄宗側近の高力士、「供狀」は書面による供述。

〔イ〕次の文章を読んで、傍線部①②③を日本語に訳せ。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

(『醒世恒言』第二十卷)

(注)

懼内：怕老婆。

狼狽：形容困苦或受窘的樣子。

落薄：落魄，倒楣。

發積：即發跡；舊時所謂的走運，升官發財。

問三 次の文章を読んで、以下の問に答えよ。

- (1) 「」で囲まれたA・B・Cの部分を日本語に訳せ。
(2) 波線部①と②の現代中国語音をピンインで記せ。(声調符号も含む。ただし横書きすること)

A ※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

B ※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

C ※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

冯骥才《三十七度正常》より
(《冯骥才(中国当代作家选集丛书)》人民文学出版社, 1991年)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(次頁へ続く)

Blank lined area for writing.

—これより先の余白には絶対に記入しないこと—